

時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

低学年向け 2024年 春号



家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく（家読）」です。難しいルールは要りません。家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあつたり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



「1ねん1くみの1にち」
川島 敏生/写真・文 (アリス館)

ここは1ねん1くみの教室。とうこうしてきた子どもたちやあさの会、じゅぎょううちゅうなど、学校の1にちのようすがよくわかります。みんなのだいすきな給食の1か月のメニューも見られるし、りかしつもワクワクしちゃう！

それに、みんながかえってくら～くなった教室のようすも…。
今すぐ学校に行きたくなっちゃう写真絵本です。

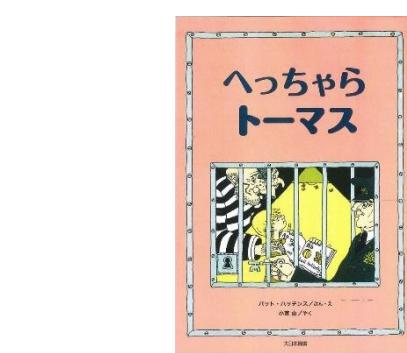
「おしゃべりゆわかし」

佐藤 さとる/作 村上 勉/絵 (あかね書房)

ちいさくて、きれいなだいどころ。そこでじけんはおこりました。たすけて！にんぎょうのおひめさまが、れいぞうこにとじこめられちゃった！

おもちゃのロボットが、おひめさまのこえに気がついて…。ゆわかしやふらいぱん、こっぷやこーひーぢやわん、こどもべやのおもちゃたちまで。みんなでいっしょにおひめさまをたすけようとがんばります。さて、はたして、どうなるのでしょうか？

「へっちゃらトーマス」



「へっちゃらトーマス」

パット・ハッチンス/文 小宮 由/絵 (大日本図書)

じ字をまったくおぼえようとしないトーマス。道あるを歩いていても「ペンキぬりさぎょうちゅう」の看板やエレベーターのボタンに書かれた「うえ」や「した」がわからない。でも、トーマスはそんなことはおかまいなし。もちろん、トイレの「おとこ」「おんな」だって読めないので、まわりにいる人たちは巻き込まれて大変な目に！

そしてとうとう、トーマスは大事故を起こしてしまい…。



「さくらがさくと」

とうごう なりさ/さく (福音館書店)

さくらって、いつさくのでしょうか？

かぜ 風はまだつめたいけれど、まいにちすこしづつひがのびて、あたたかくなっています。さくらの木は、ちゃんとそれをしっていますよ。

みんながいそいで学校やしごとにむかう朝。さくらがさくと、みんなが足をとめて、かおをあげたりしゃしんをとったり。夜のさくらもきれいでしゅうまつのさくらまつりには、どんなお店ができるのかな？

やさしい色あいが、とてもすてきな絵本です。



「どうぶつ川柳 ぼく、だーれ？」
サトシン/さく ドーリー/え (そうえん社)

「川柳」っていうのは、5・7・5の数の文字で作られたみじかい詩のことです。いろんなどうぶつたちが、自分はなんのどうぶつか川柳でヒントをくれる絵本だよ。どうぶつたちのいろんな気持ちが川柳になっていておもしろい！

なんのどうぶつか、わかるかなあ～？



「ともだちができちゃった！」
セラ・アシャロン/文 光吉 夏弥/絵
スザン・パール/え (大日本図書)

ぼくはベニー。ある日、おとうさんとおかさんがあたらしい家にひっこすと言いました。でも、ぼくは友だちはなれたくないし、新しいともだちだってできっこないよ。

とうとう、ひっこしの日がきてあたらしい家を見たけど、ちっともうれしくない。おまけに、なかよしの犬レックスまでにげだしちゃった！レックスをさがしに出かけると…。